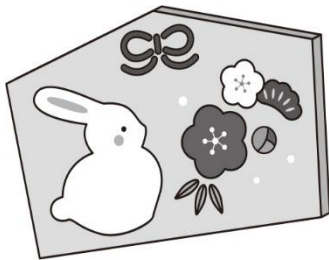


ほけんだより



静岡聴覚特別支援学校
保健室 文責・栗田
令和5年1月12日



新しい年、そして3学期が始まりました。冬休みは、元気に楽しく過ごすことができましたでしょうか。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症の、今冬は季節性インフルエンザの流行にも備え、学校でも家庭でも、新しい生活様式に基づいて、基本的な衛生習慣に加え、一つ一つの行動に注意しながら感染症予防をしてきました。

1月以降も、寒さに負けない丈夫な体を作り、感染予防対応をしながら、元気に毎日を過ごせますよう御協力をお願いします。



インフルエンザによる「出席停止」の対応について

ここ3年間は、インフルエンザの感染者が全国的にも極めて少なく、大きな流行は起こりませんでした。11月下旬から県内でも少しずつ感染者が増え始め、12月28日には「流行が始まった」と発表されました。

インフルエンザは、毎年ウイルスが変異して免疫を得にくい感染症です。特に3歳以下は、インフルエンザに罹ったことの無い子がほとんどのため、注意が必要です。

インフルエンザは、学校保健安全法で出席停止の期間が以下のように定められていますが、幼稚部と小中学部では異なるので御注意ください。他の感染症と違い、**医師による登校許可証明が不要**なので、登校可能な時期について、かかりつけ医とよく確認するようお願いします。



発熱した後（発熱の翌日を1日目として）**5日を経過**し、
かつ、解熱した後、**小中学部は2日** **幼稚部は3日**を経過するまで。

インフルエンザの書類は、医師の「罹患証明書」と家庭の「経過報告書」

令和元年度から出席停止の様式が変わりました。

インフルエンザと診断された場合は、病院で **罹患証明書（上段）** を書いてもらいます。その後、保護者が **経過報告書（下段）** へ毎日の健康観察結果を記入し、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼稚部は3日）を経過した」ことが確認できたら、保護者の署名・捺印した報告書を持って登校します。

症状が無くなってからの受診や、病院での治癒証明は不要です。

発症日	発熱	咳	痰	喉痛	頭痛	倦怠感	嘔吐	下痢
1/12	○	○	○	○	○	○	○	○
1/13	○	○	○	○	○	○	○	○
1/14	○	○	○	○	○	○	○	○
1/15	○	○	○	○	○	○	○	○
1/16	○	○	○	○	○	○	○	○
1/17	○	○	○	○	○	○	○	○
1/18	○	○	○	○	○	○	○	○
1/19	○	○	○	○	○	○	○	○
1/20	○	○	○	○	○	○	○	○

インフルエンザ以外の感染症は、「治癒証明書」が必要

インフルエンザ以外の感染症に係る出席停止の様式は、今までどおりです。症状が無くなったなら、病院で「治癒証明書」を書いてもらいましょう。感染症にかかった場合は、様子を学校へお知らせいただくとともに、情報の共有と感染拡大防止に御協力ください。

静岡県の新型コロナウイルス感染状況：国評価レベル3 (12月23日～「医療ひっ迫警報」、11月11日～「感染拡大警報」)



7月12日以降「国評価レベル2」を維持してきましたが、12月中旬から新規感染者数が急増し、静岡県は12月23日に「国評価レベル3（医療負荷増大期）」へ引き上げ、併せて「医療ひっ迫警報」を発表しました。

本校でも、年末から1月以降、陽性者や濃厚接触者が増えています。家庭内での感染の広がりも見られます。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時流行すると、医療機関の受診が難しくなる可能性があるため、各家庭で事前の準備をすることが重要になります。感染しても安心して療養ができるように、鎮痛解熱剤や風邪薬、検査キットを備えましょう。



毎日の生活で、マスクは必需品です。

学校での授業中は、透明マスクやマウスシールドを使用することもあります。登下校の公共交通機関内や通常の生活では、できるだけ不織布マスクをしましょう。

大切なことは、マスクの着け方です。

顔の大きさに合ったサイズを選びましょう。鼻、ほお、あごにすき間がないようにプリーツを広げ、ワイヤーを鼻の形に合わせて曲げることで、マスクの効果が上がります。

せきで3m、くしゃみで5mもウイルスが飛び散ります！



感染症にかかった人が咳やくしゃみをする時、ウイルスが勢いよく3～5m飛び散ります。感染の広がりのほとんどが、このしぶきによる「飛沫感染」で、その様子から「ぶっかけ感染」「ぶっかけられ感染」とも言います。

症状のある人はマスクをして、咳やくしゃみをする時には必ずティッシュなどで口と鼻を押さえ、使ったティッシュはそのままなくビニール袋などに入れて捨てましょう。手で口を押さえた時には、すぐに石けんで手を洗いましょう。周りの人から1m以上離れ、顔をそむけてする習慣も付けましょう。

「咳エチケット」の習慣を付けましょう！



冬休みに定期通院や病気等で通院をした場合は、「受診結果連絡票」へ記入して、緑のクリアファイルに入れて提出してください。新たに学校での内服が必要になった場合は、「与薬依頼書・見届け依頼書」への記入もお願いします。